

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第181号



今回のテーマ 欧州政治の「安定」の鍵を握るドイツ総選挙

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

2017年はオランダやフランス、英国などの欧州主要国で選挙が相次いでおり、9月24日にはドイツでも総選挙が行なわれます。親EU(欧州連合)派が勝利した仏大統領選に続き、欧州政治の安定につながる結果となるか、ドイツ総選挙について調べました。

1. ドイツ連邦議会

ドイツの議会は二院制を採用しており、総選挙で議員が選出される連邦議会と、各州政府の代表で構成される連邦参議院があります。連邦議会の議員の任期は4年で、前は2013年に選挙が行なわれました。また、首相は連邦議会の指名選挙で選出されます。

連邦議会は598議席を定数としているものの、選挙の仕組みから超過議席が発生することがあり、現在は630議席で構成されています。議席を持つ主な政党として、メルケル首相が率いる与党「CDU(キリスト教民主同盟)」、二大政党としてCDUと連立政権を樹立している「SPD(社会民主党)」、二大政党に不満を持つ国民の受け皿となっている野党「左派党」などがあります。

ドイツの政治制度は、安定を重視した仕組みとなっており、長期政権が続く傾向があります。連邦議会では、例外を除いて、日本のように野党からの不信任による解散がないため、原則として4年おきにしか選挙が行なわれません。また、比例代表で5%以上の票、あるいは小選挙区で3議席以上を獲得できない政党は、連邦議会で議席を得られない「阻止条項」が設けられており、少数政党の乱立を防ぐ仕組みとなっています。

ステップアップ

CDUは、中道右派(穏健路線の保守派)の保守政党で、経営者や高齢者など、幅広い層からの支持を集めています。
SPDは、中道左派(穏健路線の社会民主主義派)で、主に労働者からの支持を集めています。



(次のページへ続きます)

□当資料は、日興アセットマネジメントが経済一般・関連用語についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。□投資信託は、価値のある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

戦後にドイツの首相を務めたのは8名に留まっており、メルケル首相も、2005年以来、12年間にわたって首相を務めてきました。今回の選挙でCDUが勝利し、首相が続投となる場合には、メルケル政権は16年間続く長期政権になるとみられます。

2. ドイツ総選挙(連邦議会選挙)

世論調査の結果などによると、今回の総選挙はCDUが勝利し、メルケル首相が続投することが有力視されています。

積極的な難民受け入れ政策が批判され、CDUの支持率は、2016年半ばにかけて低下傾向となりました。一方のSPDは、欧州議会議長として知名度の高かったシュルツ氏が今年1月に党首に就き、支持率を大幅に回復し、一時はCDUを上回りました。

しかし、その後、格差是正などのSPDの主張に対する支持は拡がらず、支持率は低下傾向となりました。一方で、CDUの支持率は上昇傾向に転じ、最近では、連邦議会選挙の前哨戦となる州議会選挙において、CDUが有力州での勝利を収めたことで、連邦議会選挙で第1党になるとの見方が強まっています。

その背景には、雇用情勢などを中心に、ドイツ経済の好調が続いていることや、英国のEU(欧州連合)離脱、相次ぐテロなどを受けて欧州情勢が不安定となるなか、メルケル首相の実績や安定感が支持されていることなどがあります。SPDも中低所得者向けに大型減税を公約するなど、巻き返しを図っていますが、CDUも大型減税を公約し、政策に差がつかない状況となっています。

ただ、足元のCDUの支持率は4割程度に留まっており、選挙後には連立政権の樹立が必要となる見通しです。連立の相手としては、SPDのほか、CDUと同じく財政規律を重視する「FDP」(自由民主党)など、いくつか候補があるとみられます。しかし、主要な政党の掲げる政策は、いずれも治安向上や減税・生活支援、欧州の統合深化と、似通っており、CDU主導のもと、これまでの政策が大きく転換されることはないと思込まれます。

CDUがこのまま勝利できるか、また、どのような連立政権となるかについては、依然として不確実性があることに注意が必要です。しかし、欧州の中核を担うドイツで、メルケル首相の安定政権が続くこととなれば、欧州全体の政治情勢の安定につながると期待されるため、市場でもプラスの材料として好感されるとみられます。

メルケル政権が維持されれば、欧州域内の連携が強まりそうですね。欧州経済が堅調に推移するなか、政治情勢がより安定すれば、見通しがさらに明るくなりそうです。

facebook twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

ステップアップ

今回の選挙では、主要政党のほかにも、EU離脱や反移民を掲げる極右政党「AfD(ドイツのための選択肢)」の動向にも注目が集まります。AfDは阻止条項をクリアし、議席を持つ可能性があるものの、欧州統合を推進する他政党との連立の可能性は小さく、同政党の影響力は限定的なものに留まるとみられます。

